

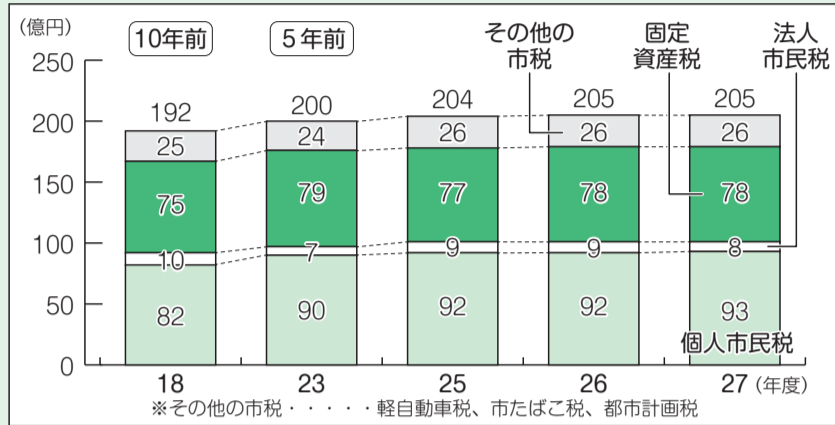
市税収入の内訳

区分	27年度決算額	割合	前年度比増減額	前年度比増減率
個人市民税	92億5,662万円	45.2%	△182万円	△0.0%
法人市民税	8億3,147万円	4.1%	△4,947万円	△5.6%
固定資産税	78億3,057万円	38.3%	1,979万円	0.3%
都市計画税	17億 792万円	8.3%	180万円	0.1%
市たばこ税	7億4,286万円	3.6%	△1,560万円	△2.1%
軽自動車税	1億 20万円	0.5%	319万円	3.3%
合計	204億6,964万円	100.0%	△4,211万円	△0.2%

※△はマイナスを表す

市税収入の状況

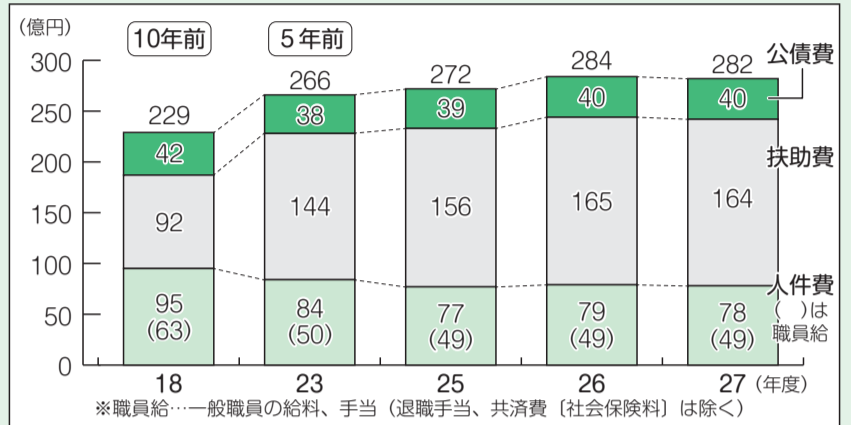
市税収入の推移



義務的経費の状況 (普通会計)

普通会計とは、総務省の定められた統一基準による会計区分で、他団体の財政状況と比較することができません。なお、一般会計とは数値が異なることがあります。義務的経費は人件費、扶助費、公債費の合計額で、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費です。27年度は、前年度比で人件費が2千302万円減、扶助費が7千181万円減、公債費が8千305万円減と、義務的経費全体で1億7千788万円の減となりました。主な減要因としては、人件費では職員退職手当、扶助費では管内私立保育実施委託料、公債費では市債の償還の進捗があります。

義務的経費の推移(普通会計)



市債(市の借入金)の状況

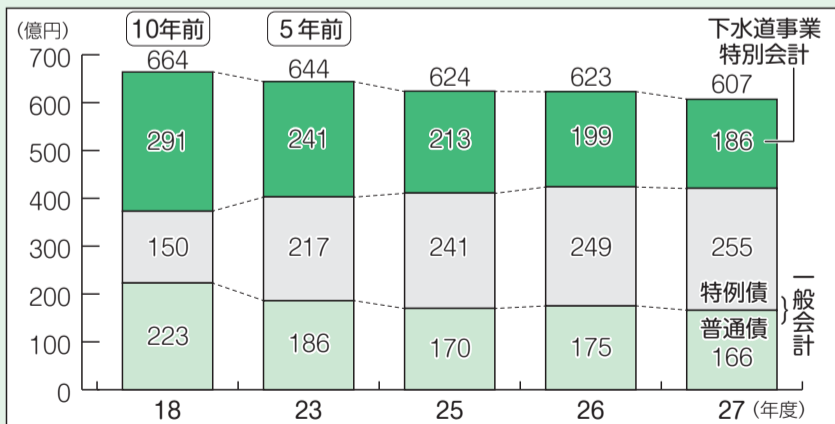
道路築造や学校、保育園などの建設には一時的に多額の経費が必要となるため、一部を市債で賄います。将来、施設を利用する皆さんにも市債の返済を「公債費」として負担してもらい、負担の公平化を図っています。市債残高は607億4千648万円で、前年度より15億5千584万円減少しています。内訳は、一般会計については、特例債(公共施設等の整備以外のために発行した臨時財政対策債、退職手当債)の発行が減少しているため、退職手当債

市債の状況

発行目的	年度末残高	割合
土木債(道路、公園、河川など)	79億8,614万円	13.1%
教育債(学校、公民館など)	50億7,221万円	8.3%
衛生債(ごみ、し尿処理など)	23億2,590万円	3.8%
民生債(保育園、児童館など)	7億1,846万円	1.2%
その他の市債(総務・商工・消防)	5億4,270万円	1.0%
普通債計	166億4,541万円	27.4%
特例債(臨時財政対策債、退職手当債、住民税等減税補てん債など)	254億7,052万円	41.9%
一般会計 合計	421億1,593万円	69.3%
下水道事業特別会計(公共下水道)	186億3,055万円	30.7%
合計	607億4,648万円	100.0%

など)が5億6千129万円の増となった一方、普通債(公共施設等の整備のために発行した市債)が8億9千218万円減となったことにより、全体で3億3千89万円の減となりました。下水道会計は12億2千495万円減となりました。

市債残高の推移

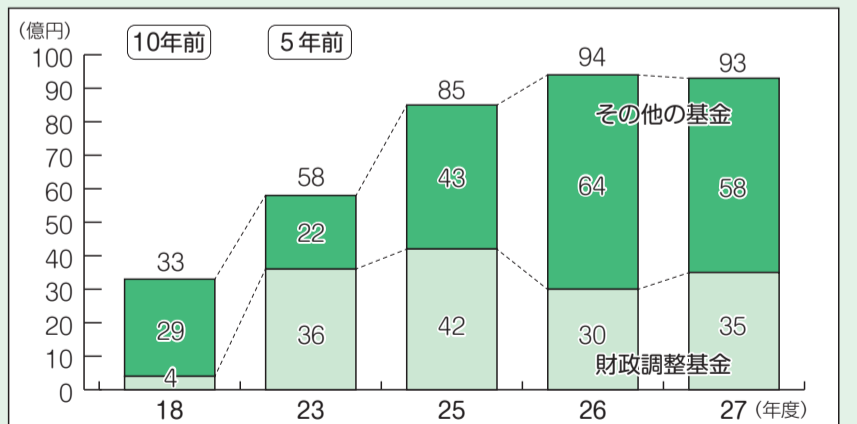


市有財産の状況 (平成28年3月31日現在)

土地	68万1,671.99㎡
建物	25万3,582.98㎡
財政調整基金	35億1,209万円
公共施設等再生基金	18億7,077万円
職員退職手当基金	9億6,248万円
連続立体交差事業等推進基金	7億 35万円
公共施設整備基金	5億2,814万円
アメニティ基金	6億4,367万円
緑地保全基金	5億4,066万円
地域産業活性化基金	9,504万円
コミュニティバス基金	3,632万円
子育てするなら東村山推進基金	1,000万円
人権の森構想推進基金	988万円
その他の基金	4億3,757万円
合計	93億4,697万円

※定額運用基金を除く

積立基金残高の推移



主な財政指標の推移

① 経常収支比率
経常収支比率、公債費比率、財政力指数の3つの財政指標の推移です。

② 公債費比率
縮減することが容易ではない経常的な支出に充てられた市税や地方交付税などの経常的な一般財源に占める割合を見る指標です。財政構造の弾力性を測定する指標で、比率が高いほど政策的に使えるお金が少なく財政は硬直化していることとなります。

③ 財政力指数
普通交付税の算定に用いる、全国の自治体の財政力と同じ尺度で測った指数で、1を超えると財源に余裕があるとされています。

財政指標による分析

	25年度	26年度	27年度
① 経常収支比率	89.7%	91.9%	88.9%
② 公債費比率	8.1%	8.0%	8.2%
③ 財政力指数(3か年平均)	0.801	0.803	0.811